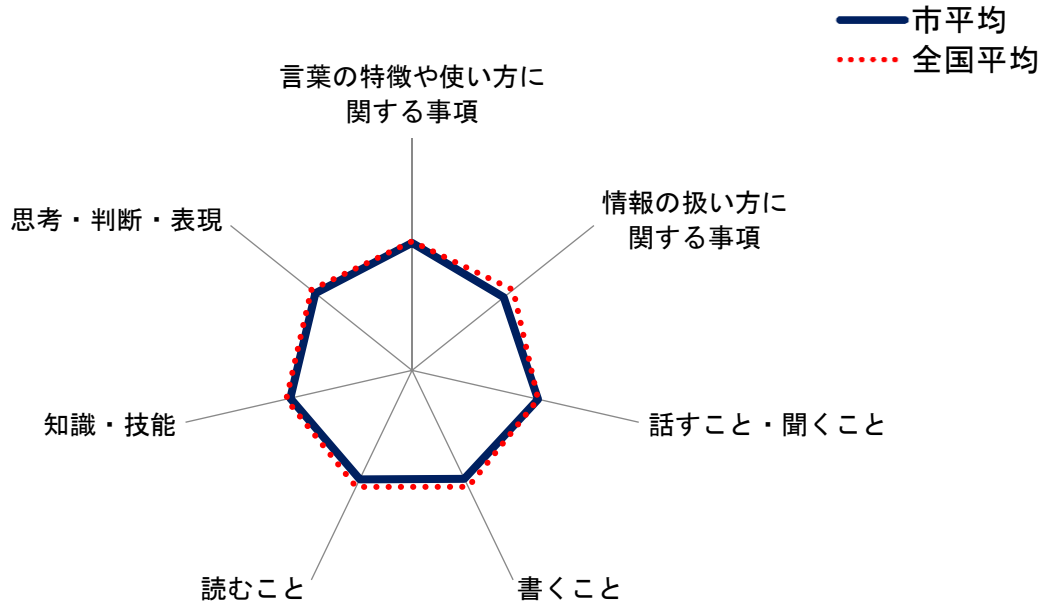
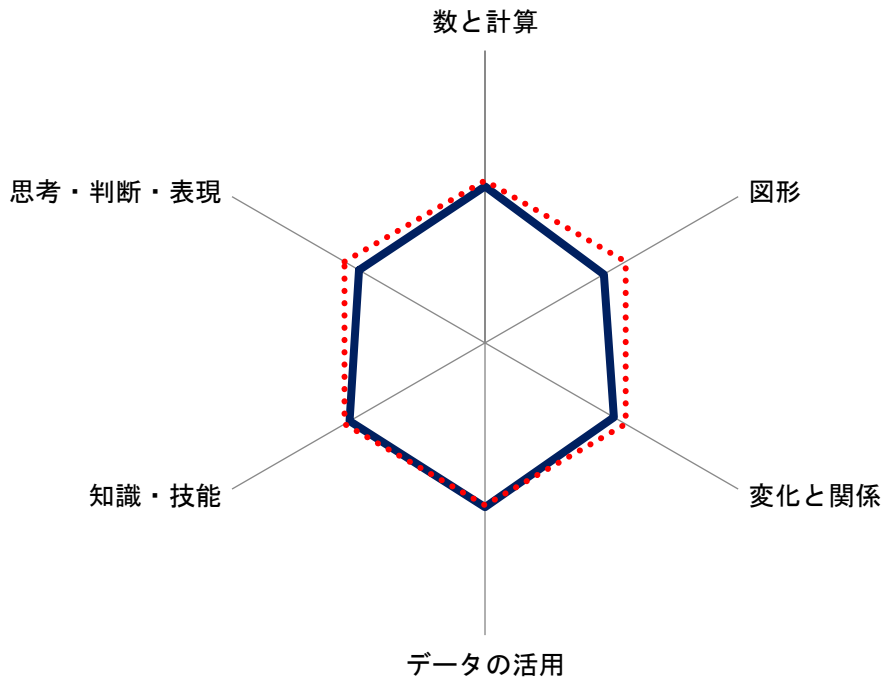


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

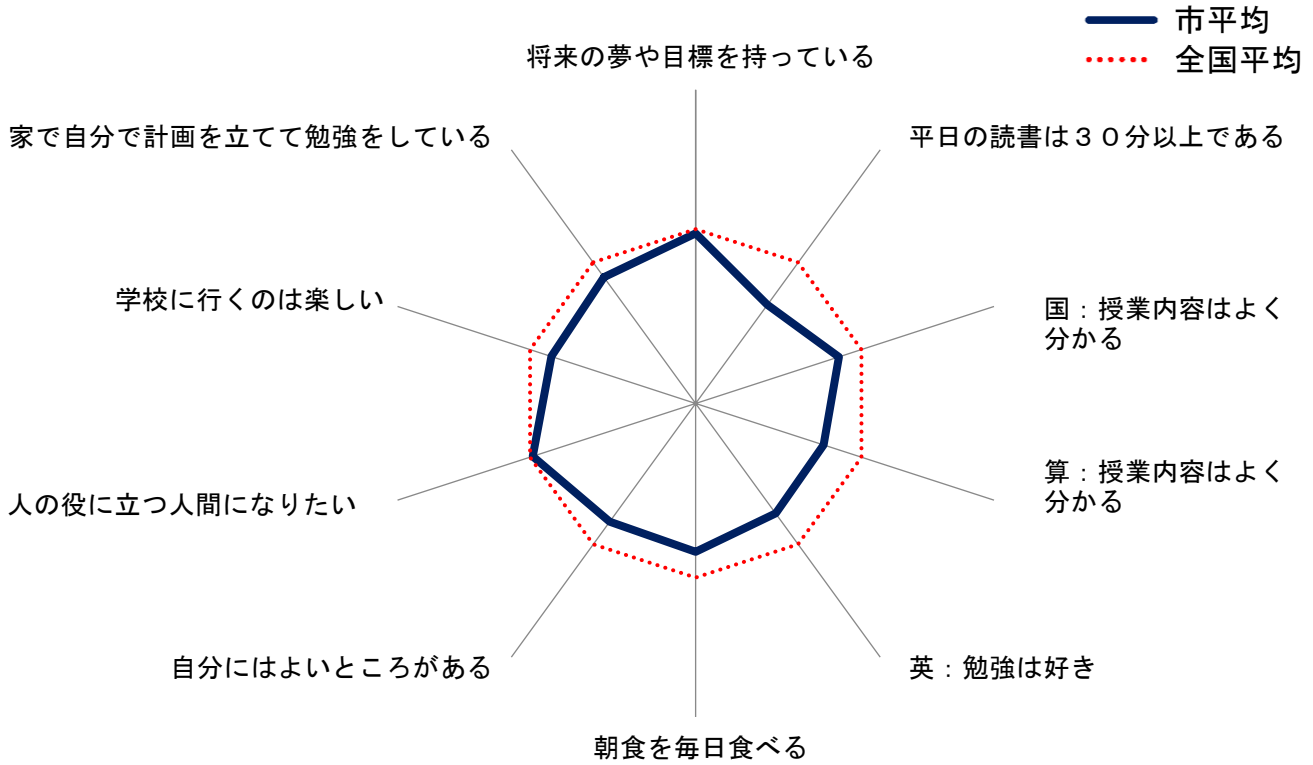
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、全ての項目が全国平均とほぼ同じか下回っている。特に、国語の「情報の扱い方に関する事項」、算数の「図形」の項目は、全国平均を大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着と読解力に課題が見られる。今後は、設問ごとに詳細な分析を行うことで成果と課題を明確にするとともに、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かし、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成や読解力の向上が望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げている全ての項目が全国平均を下回っており、特に「平日の読書は30分以上である」「算数の授業内容はよく分かる」「英語の勉強は好き」の項目が全国平均を大きく下回っている。今後も読書活動のより一層の充実に向けた取組を重ねるとともに、「分かる、できる」を実感できる授業になるよう、市独自の授業モデルを生かした授業実践を推進することで「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を図ることが望まれる。